

科目名 (英)	ホスピタリティ I (Hospitality I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 金曜・2限
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	日本のサービス産業の現状やホスピタリティ重要性について説明でき、自分の生活において求められる行動を説明できる。						
到達目標	テキストに記載されている各項目について 1) ホスピタリティの重要性、歴史、語源について説明できる 2) 個人と個人、個人と地域社会、組織と顧客、組織と社員(従業員)、組織と地域社会など各領域で実践されているホスピタリティについて考え自分の意見が言える 3) 自分の経験したホスピタリティについて振り返り、考え、説明することができる 4) 他人の経験したホスピタリティの説明を聞き、自分の意見を説明することができる						
評価方法と基準	1) 提出物 2) 振り返りテスト						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性	学んだことを振り返る
2		演習	日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性	学んだことを振り返る
3		演習	ホスピタリティの歴史と文化	学んだことを振り返る
4		演習	ホスピタリティの歴史と文化	学んだことを振り返る
5		演習	これまでの振り返り	学んだことを振り返る
6		演習	サービスとホスピタリティの語源	学んだことを振り返る
7		演習	サービスとホスピタリティの語源	学んだことを振り返る
8		演習	ホスピタリティの定義	学んだことを振り返る
9		演習	ホスピタリティの定義	学んだことを振り返る
10		演習	これまでの振り返り振り返り	学んだことを振り返る
11		演習	ホスピタリティの5領域	学んだことを振り返る
12		演習	ホスピタリティの5領域	学んだことを振り返る
13		演習	ホスピタリティ演習	学んだことを振り返る
14		演習	ホスピタリティ演習	学んだことを振り返る
15		演習	まとめ	学んだことを振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ホスピタリティ・コーディネータ教本				

科目名 (英)	キャリアプランニング I (コミュニケーションスキル) (Communication Skill)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 水曜・3限
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ現場で仕事をする際、あらゆる人間関係が発生し、それを円滑にしていくスキルが求められる。そのため、言語によるコミュニケーションの概論について理解し、その技術(聞く、話す、読む、書く)をポイントを理解したうえで実践することができる。また、コーチとしての専門的知識や、コーチに求められる対他者の知識、対自己の知識について考え実践することができる。また、コミュニケーションスキルアップ検定の学習を通し、社会の一員として必要なコミュニケーションスキル(基本的会話スキル、自己表現スキル、社会的スキル)とサービスマインドについて説明ができる。						
到達目標	コミュニケーションスキルアップ検定に合格する。 言語でのコミュニケーションについて理解し、実践できる。						
評価方法と基準	1) 出席状況 50% 2) 提出物 40% 3) 検定合否 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	コミュニケーション技法とは について説明できる	
2		演習	コーチに求められる知識とスキル ブレインストーミング、KJ法 について説明・実践できる	学習箇所について事前に読み、 ワークブックに考えを記入する
3		演習	コーチに求められる知識とスキル 聞き上手の技法 について説明・実践できる	学習箇所について事前に読み、 ワークブックに考えを記入する
4		演習	対他者力を磨こう(コミュニケーションスキル) 話し上手の技法 について説明・実践できる	学習箇所について事前に読み、 ワークブックに考えを記入する
5		演習	対他者力を磨こう(コミュニケーションスキル) ブラインドウォーク を体験する	学習箇所について事前に読み、 ワークブックに考えを記入する
6		演習	対他者力を磨こう(リーダーシップスキル) 読み上手の技法① について説明・実践できる	学習箇所について事前に読み、 ワークブックに考えを記入する
7		演習	対他者力を磨こう(プレゼンテーションスキル) 読み上手の技法② について説明・実践できる	学習箇所について事前に読み、 ワークブックに考えを記入する
8		演習	対他者力を磨こう(ファシリテーションスキル) 書き上手の技法 について説明・実践できる	学習箇所について事前に読み、 ワークブックに考えを記入する
9		演習	対他者力を磨こう(ファシリテーションスキル) テーマ探しの技法 について説明・実践できる	学習箇所について事前に読み、 ワークブックに考えを記入する
10		演習	対他者力を磨こう(ファシリテーションスキル) コミュニケーション技法のまとめ	学習箇所について事前に読み、 ワークブックに考えを記入する
11		演習	対他者力を磨こう(その他の対他者スキル) コミュニケーションスキルアップ 基本的対話スキル について説明できる	テキストを読み返す
12		演習	対自己力を磨こう(コーチの学び) コミュニケーションスキルアップ 自己表現スキル について説明できる	テキストを読み返す
13		演習	対自己力を磨こう(コーチのセルフマネジメント) コミュニケーションスキルアップ 社会的スキル について説明できる	テキストを読み返す
14		演習	対自己力を磨こう(さまざまな思考法や伝達法) コミュニケーションスキルアップ サービスマインド について説明できる	テキストを読み返す
15		試験	コミュニケーションスキルアップ検定試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
リファレンスブック コミュニケーションスキルアップ検定テキスト				

科目名 (英)	キャリアプランニングⅡ (英会話)	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	1	担当教員	ILC
	(English Conversation)	授業 形態	演習・実習等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期・後期・通年・集 中等
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴							
授業の学習内容	滋慶学園の英語教育に長期に渡って携わり、Active Learningに取り組んできたネイティブの英語教員が、 学生が専門分野に関連した専門英語の基本的な表現を使って、外国人を前に怖がったり、恥ずかしがったりせず、 流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につけることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う。						
到達目標	海外研修や将来のキャリアなどで役に立つ基本的な英会話や英語表現を習得する。						
評価方法と基準	評価は、100点満点の筆記試験で行う。授業で学習した内容の定着度を確認する。 評価は学則規定に準ずる。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスオリエンテーション L1 挨拶が出来るようになる	教科書の復習
2		講義	L3 個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	教科書の復習
3		講義	L6 好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	教科書の復習
4		講義	L8 相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	教科書の復習
5		講義	L11 相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に返答出来るようになる	教科書の復習
6		講義	L7 L13 時間を尋ねることが出来るようになる 時間を伝えることが出来るようになる 相手の日課について質問が出来るようになる 自分の日課について説明出来るようになる	教科書の復習
7		講義	L14 継続して質問することが出来るようになる	教科書の復習
8		講義	L19 L20 ある場所の位置について質問出来るようになる ある場所の位置を説明出来るようになる 道案内が出来る、道順を尋ねることが出来るようになる	教科書の復習
9		講義	L21 L23 ある行動の頻度について尋ねることが出来るようになる ある行動の頻度を説明出来るようになる	教科書の復習
10		講義	L28 ある食べ物について質問出来るようになる ある食べ物を説明出来るようになる	教科書の復習
11		講義	L29 L30 過去の出来事について話すことが出来るようになる 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる	教科書の復習
12		講義	L32 予定について質問出来るようになる 予定について説明出来るようになる	教科書の復習
13		講義	習った内容の振り返り	教科書の復習
14		講義	定期試験に向けて復習する	
15		講義	定期試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名 (英)	生理学 (スポーツ生理学Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	藤本 敏彦
	(Exercise PhysiologyⅠ)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 火曜・4限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	1990年鹿屋体育大学修士課程修了後、東北大学にて勤務 准教授						
授業の学習内容	スポーツ時に起こる身体内での生理現象を、神経系、骨格筋系、内分泌系、呼吸循環器系、発達発育に分けて学習する。						
到達目標	身体機能の構造および運動における身体の変化について説明できる。 また、身体は有酸素運動および無酸素運動を実施した際に、どのような生理的反応(適応)を示すか説明できる。						
評価方法と基準	定期試験 90%、授業中の発表回数 10%、復習の忘れは減点 1回5点 授業時の居眠り、雑談等は教員の判断で減点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	スポーツ生理学とは何かについて説明できる	講義の復習
2		講義	スポーツ生理学の基礎知識について説明できる	講義の復習
3		講義	運動器の仕組みと働きについて説明できる①	講義の復習
4		講義	運動器の仕組みと働きについて説明できる②	講義の復習
5		講義	呼吸器系の仕組みと働きについて説明できる	講義の復習
6		講義	循環器系の仕組みと働きについて説明できる	講義の復習
7		講義	エネルギー供給システムについて説明できる①	講義の復習
8		講義	エネルギー供給システムについて説明できる②	講義の復習
9		講義	エネルギー供給システムについて説明できる③	講義の復習
10		講義	バイオメカニクスの基礎知識について説明できる①	講義の復習
11		講義	バイオメカニクスの基礎知識について説明できる②	講義の復習
12		講義	バイオメカニクスの実際について説明できる①	講義の復習
13		講義	バイオメカニクスの実際について説明できる②	講義の復習
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	自主採点
15		講義	学習した内容の問題に答えられる	試験内容の復習
準備学習 時間外学習		復習ノートを作成する		
【使用教科書・教材・参考書】				
健康運動実践指導者養成用テキスト リファレンスブック フィットネス基礎理論 トレーニング指導者テキスト理論編 運動生理学の基礎と発展				

科目名 (英)	解剖学 I (機能的解剖学 I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡会稔
	(Functional Anatomy I)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 木曜・1限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	1999年日本スポーツ協会アスレティックトレーナー取得 2009年～2014年仙台大学 体育学部 体育学科 助教 プロバスケットボールチームトレーナーを歴任						
授業の学習内容	上半身および股関節、大腿の運動に作用する筋、靭帯、関節、神経支配の構造・機能を理解し、説明できる。						
到達目標	人体の各部位の基礎解剖学と運動について理解し、運動時に関与する骨、筋、関節、靭帯、神経支配を同定できるようにする。						
評価方法と基準	1) 筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	人体の構造と機能について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
2		講義	頸部、腰、背部の靭帯、関節の構造と機能および運動について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
3		講義	頸部、腰、背部の運動時に作用する筋、神経支配について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
4		講義	頸部、腰、背部の体表解剖について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
5		講義	肩・上腕の靭帯、関節の構造と機能および運動について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
6		講義	肩、上腕の運動時に作用する筋、神経支配について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
7		講義	肩、上腕の体表解剖について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
8		講義	肘、前腕、手、指の靭帯、関節の構造と機能および運動について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
9		講義	肘、前腕、手、指の運動時に作用する筋、神経支配について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
10		講義	肘、前腕、手、指の体表解剖について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
11		講義	股関節、大腿の靭帯、関節の構造と機能および運動について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
12		講義	股関節、大腿の運動時に作用する筋、神経支配について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
13		講義	股関節、大腿の体表解剖について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
14		試験	試験	
15		講義	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】骨の名前としくみ事典 運動器の解剖と機能 健康運動実践指導者養成用テキスト フィットネス基礎理論 トレーニング指導者テキスト				

科目名 (英)	解剖学Ⅱ (機能的解剖学Ⅱ) (Functional AnatomyⅡ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡会稔
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 木曜・1限
教員の略歴	1999年日本スポーツ協会アスレティックトレーナー取得 2009年～2014年仙台大学 体育学部 体育学科 助教 プロバスケットボールチームトレーナーを歴任						
授業の学習内容	下半身の運動に作用する筋、靭帯、関節、神経支配の構造・機能を理解し、説明できる。歩行、跳躍、投動作およびあらゆる運動のメカニズムや、それに伴うケガについて説明できる。						
到達目標	人体の各部位の基礎解剖学と運動について理解し、運動時に関与する骨、筋、関節、靭帯、神経支配を同定できるようになる。						
評価方法と基準	1) 筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	下腿、足関節、足、指の靭帯、関節の構造と機能および運動について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
2		講義	下腿、足関節、足、指の運動時に作用する筋、神経支配について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
3		講義	下腿、足関節、足、指の体表解剖について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
4		講義	膝の靭帯、関節の構造と機能および運動について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
5		講義	膝の運動時に作用する筋、神経支配について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
6		講義	膝の体表解剖について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
7		講義	外傷発生の起点となる歩行メカニズムについて説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
8		講義	歩行メカニズムの分析方法について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
9		講義	外傷発生の起点となる走行メカニズムについて説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
10		講義	走行メカニズムの分析方法について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
11		講義	外傷発生の起点となる跳躍動作メカニズムについて説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
12		講義	跳躍動作メカニズムの分析方法について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
13		講義	外傷発生の起点となる投動作メカニズムについて説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
14		講義	投動作メカニズムの分析方法について説明できる	授業中のノートを確認しまとめる
15		試験	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 筋肉のしくみ・はたらきパーフェクト事典 運動器の解剖と機能 健康運動実践指導者養成用テキスト フィットネス基礎理論 トレーニング指導者テキスト				

科目名 (英)	運動学 (スポーツバイオメカニクス)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	沼田尚
	(Sports Biomechanics)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 金曜1限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	山形大学大学院教育学研究科修了、健康運動指導士 JATI-ATI						
授業の学習内容	<p>運動やスポーツの指導を効果的に行うためには、運動と力の働きの関係を理解していなければならない。この授業ではその理解のため、日本スポーツ協会公認「スポーツ指導者」および日本トレーニング指導者協会「トレーニング指導者」の養成カリキュラムに沿い、以下について実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオメカニクスとは ・バイオメカニクスを学習をする意義について ・身体運動を力学的に検証するスポーツバイオメカニクスの基礎 ・スポーツ、運動、トレーニング動作のバイオメカニクス 						
到達目標	<p>スポーツバイオメカニクスや、その学習の意義について説明ができる。 スポーツバイオメカニクスの観点から運動・スポーツし指導ができる。 日本スポーツ協会公認「アスレティックトレーナー」、日本トレーニング指導者協会「トレーニング指導者」の資格検定で出題されるようなスポーツバイオメカニクスに関する問題を解くことができる。</p>						
評価方法と基準	1) 筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	力の合成と分解について説明できる	小テスト
2		講義	生体におけるテコの原理、重心の求め方について説明できる	小テスト
3		講義	重心の速度・加速度について説明できる	小テスト
4		講義	床反力と重心加速度とは何かについて説明できる	小テスト
5		講義	床反力作用(GOP)とは何かについて説明できる	小テスト
6		講義	関節モーメントの筋活動について説明できる	小テスト
7		講義	関節モーメントのパワーについて説明できる	小テスト
8		講義	ジャンプ動作について説明できる	小テスト
9		講義	立ち上がりのバイオメカニクスについて説明できる	小テスト
10		講義	歩き始めのバイオメカニクスについて説明できる	小テスト
11		講義	重心と床反力作用について説明できる	小テスト
12		講義	歩行の観察 OGIGの方法について説明できる	小テスト
13		講義	重心の動きを滑らかにする機能について説明できる	小テスト
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		講義	学習した内容の問題に答えられる	
16				
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
公認アスレティックトレーナー専門科目テキストスポーツ科学 リファレンスブック				

科目名 (英)	栄養学 (スポーツ栄養学Ⅰ) (Sports NutritionⅠ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐々木裕子
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	管理栄養士						
授業の学習内容	スポーツ指導者には医・科学的な知識が必要である。この授業では、スポーツと栄養についての知識を学び、健康の維持増進を目的とした基本的な栄養に関する考え方について学習する。更に、運動選手に対する栄養食事サポートの方法について学習し、スポーツ指導者として正しく栄養指導ができるための知識を身に付けていく。						
到達目標	<p>栄養の基礎と運動に関わる知識を持つ。スポーツに関する食事方法について知識を持つ。水分摂取についての正しい知識を持つ。対象者に応じて、または、競技や目的に応じた栄養・食事のポイントを理解し、説明をすることができる。</p> <p>身体活動・運動に対する各栄養素の役割及び活動中のエネルギー代謝、生活習慣病の発症および重症化を防ぐための望ましい食事を説明することができる。</p>						
評価方法と基準	1) 筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	5大栄養素の役割と特徴 身体組成とエネルギー代謝	授業内で学んだ知識を振り返る
2		講義	5大栄養素の役割と特徴 身体組成とエネルギー代謝	授業内で学んだ知識を振り返る
3		講義	5大栄養素の役割と特徴 身体組成とエネルギー代謝	授業内で学んだ知識を振り返る
4		講義	アスリートの栄養摂取の考え方	授業内で学んだ知識を振り返る
5		講義	サプリメント摂取に関する注意点	授業内で学んだ知識を振り返る
6		講義	基本の食事	授業内で学んだ知識を振り返る
7		講義	水分補給	授業内で学んだ知識を振り返る
8		講義	減量・増量	授業内で学んだ知識を振り返る
9		講義	貧血予防の食事	授業内で学んだ知識を振り返る
10		講義	試合前・遠征時の食事	授業内で学んだ知識を振り返る
11		講義	疲労骨折予防・疲労回復・夏バテと食事	授業内で学んだ知識を振り返る
12		講義	女性アスリートの食事	授業内で学んだ知識を振り返る
13		講義	トレーニング期と試合期の食事について説明できる	授業内で学んだ知識を振り返る
14		講義	健康増進と栄養(日本人の食事摂取基準、食事バランスガイド、食育)について説明できる	授業内で学んだ知識を振り返る
15		試験	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 スポーツと栄養(公認AT専門科目テキスト) 栄養の基礎がわかる図解事典 リファレンスブック 健康運動実践指導者養成用テキスト フィットネス基礎理論 トレーニング指導者テキスト理論編				

科目名 (英)	指導者論 (コーチングスキル)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉田晴彦
	(Coaching Skills)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 曜日・時限 火曜・3限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	平成15年3月 中学・高等学校教諭一種免許(保健体育)取得 平成22年1月 JAT認定トレーニンング指導者資格取得 平成25年3月 柔道整復師免許取得 平成26年4月 スポーツ&コンディショニング「SteadyFive」みやぎのはら接骨院開業						
授業の学習内容	人々はあらゆる目的でスポーツに関わっている。スポーツ指導者はその目的を満たせるように支援していくが、そのニーズに応えられるためのコーチングスキルが必要である。この授業では「コーチング」とは何かをはじめ、コーチングの基本的知識やその役割について学ぶ。また、あらゆる環境に応じたコーチングの留意点について学ぶ。さらに、ハイパフォーマンスにおけるコーチングについて学ぶ。						
到達目標	「コーチングとは」「コーチに求められる役割」「時代をリードするコーチング」「コーチング環境の特徴」「ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチングについて説明できる。そして、日本スポーツ協会のオンラインテストに合格できる。						
評価方法と基準	1) 筆記テスト100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	コーチングとは コーチングとコーチを定義する	学んだことを振り返る
2		講義	コーチングとは グッドプレイヤーを育てるグッドコーチ	学んだことを振り返る
3		講義	コーチングとは プレイヤーズセンタードなコーチング	学んだことを振り返る
4		講義	コーチに求められる役割 責任と役割	学んだことを振り返る
5		講義	コーチに求められる役割 コーチの果たすべき役割	学んだことを振り返る
6		講義	コーチに求められる役割 安全な環境の構築と問題発生時の対処法	学んだことを振り返る
7		講義	時代をリードするコーチング	学んだことを振り返る
8		講義	コーチング環境の特徴 ジュニア期のコーチングの留意点	学んだことを振り返る
9		講義	コーチング環境の特徴 年齢区分からみたコーチングの留意点	学んだことを振り返る
10		講義	コーチング環境の特徴 年齢区分からみたコーチングの留意点	学んだことを振り返る
11		講義	コーチング環境の特徴 部活動単位でのコーチングの留意点	学んだことを振り返る
12		講義	コーチング環境の特徴 部活動単位でのコーチングの留意点	学んだことを振り返る
13		講義	コーチング環境の特徴 性別の考慮	学んだことを振り返る
14		講義	ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング	学んだことを振り返る
15		試験	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 リファレンスブック				

科目名 (英)	基礎医学 (スポーツ医学Ⅰ) (Sports MedicineⅠ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉田晴彦
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 水曜・2限
教員の略歴	平成15年3月 中学・高等学校教諭一種免許(保健体育)取得 平成22年1月 JATI認定トレーニング指導者資格取得 平成25年3月 柔道整復師免許取得 平成26年4月 スポーツ&コンディショニング「SteadyFive」みやぎのはら接骨院開業						
授業の学習内容	スポーツ指導者には医・科学的な知識が必要である。この授業では、スポーツと健康について考え、内科的・精神的障害への対策や、ケガへの予防など学ぶ。また、救急処置について正しい方法を学ぶ。さらに、ドーピングについて学び、スポーツ指導者の役割を考える。						
到達目標	トレーニング指導者テキストの7章「運動と医学」の内容について説明ができる。 リファレンスブックに記載される「グッドコーチに求められる医・科学的知識」の6、7の内容について説明ができる。 そして、日本スポーツ協会のオンラインテストに合格できる。						
評価方法と基準	1) 筆記テスト100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	スポーツと健康 生活習慣病とその予防	
2		講義	アスリートの健康管理	
3		講義	アスリートの内科的障害と対策	
4		講義	アスリートの内科的障害と対策	
5		講義	女性アスリートの生涯と対策	
6		講義	スポーツによる精神障害と対策	
7		講義	外傷・障害の予防	
8		講義	外傷・障害の予防	
9		講義	コンディショニングの手法	
10		講義	救急処置(救急蘇生法)	
11		講義	救急処置(外科的応急処置)	
12		講義	アンチドーピング	
13		講義	アンチドーピング	
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		講義	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 リファレンスブック トレーニング指導者テキスト理論編				

科目名 (英)	基礎医学 (スポーツ心理学Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中川裕美
	(Sports PsychologyⅠ)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 金曜・3限
学科・コース	スポーツ科学科						
教員の略歴	東北福祉大学助教 人文科学研究科博士課程心理学専攻修了						
授業の学習内容	スポーツ心理学の主要な領域における基礎的な理論について学習する。主に、動機づけ、あがり、注意・集中、イメージ、コーチングに関する主要な理論を紹介する。加えて、各領域に関する心理的支援の基礎を学ぶ。						
到達目標	目標①スポーツ心理学における基礎的な理論を説明することができる 目標②スポーツ領域における心理的支援に関わる基礎的な知識を理解する 目標③スポーツ領域における心理的支援に関する基礎的な技能を修得する						
評価方法と基準	1) 定期試験60%, 2) レポート30%, 3) 平常の学習状況10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	スポーツ心理学を学ぶ意義について説明できる 行動としてのスポーツ	配布資料の振り返りレポート
2		講義	スポーツにおける動機づけ	配布資料の確認、振り返りレポート
3		講義	スポーツにおける動機づけ	配布資料の確認、振り返りレポート
4		講義	メンタルマネジメント	配布資料の確認、振り返りレポート
5		講義	メンタルマネジメント	配布資料の確認、振り返りレポート
6		講義	他者観察	配布資料の確認、振り返りレポート
7		講義	個人差を考慮したコーチング 日常生活における相談	配布資料の確認、振り返りレポート
8		講義	運動感覚(筋感覚・内部知覚) 運動学習	配布資料の確認、振り返りレポート
9		講義	フィードバック 心理的サポート・集中力	配布資料の確認、振り返りレポート
10		講義	あがり、プレッシャー、スランプについて 性格/自己概念	配布資料の確認、振り返りレポート
11		講義	あがり、プレッシャー、スランプについて 性格/自己概念	配布資料の確認、振り返りレポート
12		講義	心理的コンディショニング	配布資料の確認、振り返りレポート
13		講義	運動と心理 メンタルヘルス	配布資料の確認、振り返りレポート
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	配布資料の確認、振り返りレポート
15		講義		試験の振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
リファレンスブック トレーニング指導者テキスト理論編 健康運動実践指導者養成用テキスト				

科目名 (英)	基礎医学 (健康管理概論) Health Care Theory)		必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	高橋英子 副校長
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜・2限
教員の略歴	東北大学医学部公衆衛生学教室非常勤講師、専門学校教員(H1～)、医学博士、薬学博士							
授業の 学習内容	健康づくりや疾病予防の基礎的な知識や考え方を理解し、対象者の年代に応じた健康指導について学ぶ。 特に、健康づくり施策づくりのもととなる資料の中の表や図の読み取りができることに力を置く。 又、健康運動実践指導者資格取得を目指し、過去問にもできるだけ触れる。							
到達目標	①健康・スポーツ関連の指導者を目指す人たちに必要な健康管理に関する基礎的知識を広めるため、疾病予防、健康増進、健康と行政の関連、環境因子等についての基礎的知識を学ぶ。 ②対象者の年代別に運動との関わりについて学ぶ。 ③健康運動実践指導者資格はもとより各種資格取得を目指し、健康づくりや疾病予防の基礎的な知識や考え方、健康づくり施策について十分に理解する。							
評価方法と 基準	定期試験(筆記試験)による評価(100%)、60点以上を合格とする							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)			
1		講義	オリエンテーション、健康と健康増進の概念:健康の定義を理解し、述べるができるようにする	WHO憲章の健康の定義を空で言えるようにする				
2		講義	アルマ・アタ宣言、オタワ憲章、その他の健康づくり施策のそれぞれの特徴を理解する	アルマ・アタ宣言、オタワ憲章の鍵となるキーワードを言えるようにする				
3		講義	わが国の現状と健康づくり施策:第1次&第2次国民健康づくり施策について学ぶ	講義内容をノートにまとめること				
4		講義	身体活動・運動の社会環境対策、生活習慣病対策について学ぶ	講義内容をノートにまとめること				
5		講義	健康日本21、健康増進法、健康フロンティア戦略について、それぞれの特徴を理解する	講義内容をノートにまとめること				
6		講義	食育基本法について理解する	食事バランスガイドをかいてみる				
7		講義	健康づくりのための運動基準2013、健康づくりのための身体活動指針(アクティブガイド)について学ぶ	講義内容をノートにまとめること				
8		講義	がん対策基本法、健康日本21(第2次)について学ぶ	健康日本21(第2次)の主な目標について理解し、説明できるようにする				
9		講義	健康日本21(第2次)の主な目標について学ぶ	健康日本21(第2次)の主な目標について理解し、説明できるようにする				
10		講義	生活習慣と生活習慣病について学ぶ	講義内容をノートにまとめること				
11		講義	メタボリックシンドロームについて学ぶ	講義内容をノートにまとめること				
12		講義	介護予防について:人口の高齢化、介護保険法、介護予防について学ぶ	講義内容をノートにまとめること				
13		講義	メディカルチェックについて:メディカルチェックの目的、メディカルチェックの手順と内容を理解する	メディカルチェックの手順と内容を理解し、現場で使えるようにする				
14		試験	定期試験	半期学んだことを復習すること				
15		講義	試験解説	試験内容を十分に理解し、資格試験につなげること				
準備学習		時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】「健康運動実践指導者養成用テキスト」公財 健康・体力づくり事業財団 単元ごとに必要に応じて、参考資料を配布								

科目名 (英)	基礎医学 (救急処置法 I) (Emergency Treatment and Lifesaving I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	仁田新一
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 集中
教員の略歴	東北大学医学部卒業 加齢医学研究所教授・東北大学副総長を歴任 医学博士 専門分野心臓外科						
授業の学習内容	運動の現場で起こる救急処置の意義、目的が説明できる。 運動の現場で起こるケガの対応や予防について理解し、実践できる。 蘇生法、AED、気道異物除去ができる。 外科的処置、固定法の基本ができる。 生活習慣病、メディカルチェックについて説明ができる。						
到達目標	救急処置の目的と意義を理解する。 運動実施中の救急疾患や外科的損傷の病態を理解し、発生時の対応や予防ができる。 生活習慣病の原因や病態を理解し、運動の重要性が説明できる。 健診やメディカルチェックについて説明できる。						
評価方法と基準	1) 筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	救急処置基礎およびスポーツ現場における救急処置の意義、目的を理解する	ノートをまとめる
2		演習	救急医療の現状の理解、重要性について学ぶ	ノートをまとめる
3		演習	怪我の評価と観察の重要性について理解する	ノートをまとめる
4		演習	外傷への応急処置について習得する	ノートをまとめる
5		演習	緊急時の救命処置について習得する	ノートをまとめる
6		演習	心肺蘇生法・固定法の実践ができる	反復練習する
7		演習	心肺蘇生法・固定法の実践ができる	反復練習する
8		演習	内科的疾患への救急処置ができる	ノートをまとめる
9		演習	現場における救急体制を習得する	ノートをまとめる
10		演習	健康増進と生活習慣病について理解する	ノートをまとめる
11		演習	健康増進と生活習慣病について理解する	ノートをまとめる
12		演習	メディカルチェックを学び理解する	ノートをまとめる
13		演習	メディカルチェックを学び理解する	ノートをまとめる
14		試験	定期試験	
15		演習	まとめ	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 健康運動実践指導者養成用テキスト フィットネス基礎理論 トレーニング指導者テキスト理論編				

科目名 (英)	エクササイズ基礎Ⅰ (レジスタンストレーニングⅠ) (Resistance TrainingⅠ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	伊藤良真
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	H26年専門学校卒業後パーソナルトレーナーとして活躍。NASM-PES 健康運動実践指導者 NSCA-CPT						
授業の学習内容	フリーウエイトとマシントレーニングの違いが説明できる。主動筋・共同筋・拮抗筋、ストレッチの種類、バーの握りの種類が説明できる。部位に応じたエクササイズが実践できる。その際の注意事項を理解し、説明できる。						
到達目標	レジスタンストレーニングの基礎的知識の習得および基礎的技術の習得を目指す。また体カトレーニングに関する基礎的知識について、体力要素の構成から学ぶ。						
評価方法と基準	1) 筆記試験 30% 2) 実技試験 30% 3) 出席状況 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	フリーウエイトとマシンの違い、主動筋・共同筋・拮抗筋とは、ストレッチの種類、バーの握りの種類が説明できる	学んだことを振り返る
2		演習	スクワット(自重) 主動筋(大腿四等筋)、共同筋(大殿筋、ハムストリングス)、拮抗筋(腸腰筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
3		演習	スクワット(フリーウエイト) バーの担ぎ方(ハイバー・ローバー)による主動筋の違い、補助のつき方が説明・実践できる	学んだことを振り返る
4		演習	レッグエクステンション、レッグカール ※スーパーセット法 それぞれのマシンの使い方、つま先の向きによる筋肉の使い方の違いが説明・実践できる	学んだことを振り返る
5		演習	ベンチプレス① 主動筋(大胸筋)、共同筋(上腕三頭筋、三角筋前部)、拮抗筋(広背筋) 5ポイントコンタクト、バーの軌道が説明・実践できる	学んだことを振り返る
6		演習	ベンチプレス② 主動筋(大胸筋)、共同筋(上腕三頭筋、三角筋前部)、拮抗筋(広背筋) 5ポイントコンタクト、バーの軌道が説明・実践できる	学んだことを振り返る
7		演習	ラットプルダウン、チニング ※コンパウンドセット法 主動筋(広背筋)、共同筋(上腕二頭筋)、拮抗筋(上腕三頭筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
8		演習	フロントレイズ、サイドレイズ 主動筋(三角筋前部・中部)、共同筋(僧帽筋)、拮抗筋(広背筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
9		演習	レッグプレス 主動筋(大腿四頭筋)、共同筋(大殿筋、ハムストリングス)、拮抗筋(腸腰筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
10		演習	ワンハンドダンベルロウ 主動筋(広背筋)、共同筋(上腕二頭筋)、拮抗筋(大胸筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
11		演習	アームカール 主動筋(上腕二頭筋)、共同筋(腕橈骨筋)、拮抗筋(上腕三頭筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
12		演習	トライセプスエクステンション、フレンチプレス 主動筋(上腕三頭筋)、共同筋(なし)、拮抗筋(上腕二頭筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
13		演習	クランチ、レッグレイズ 主動筋(腹直筋)、共同筋(外腹斜筋、内腹斜筋)、拮抗筋(脊柱起立筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	学んだことを振り返る
15		試験	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	エクササイズ基礎Ⅰ (レジスタンストレーニングⅡ) (Resistance Training Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	伊藤良真
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	H26年専門学校卒業後パーソナルトレーナーとして活躍。NASM-PES 健康運動実践指導者 NSCA-CPT						
授業の学習内容	主動筋・共同筋・拮抗筋、ストレッチの種類、バーの握りの種類が説明できる。部位に応じたエクササイズが実践できる。その際の注意事項を理解し、説明できる。						
到達目標	レジスタンストレーニングの基礎的知識の習得および基礎的技術の習得を目指す。また体カトレーニングに関する基礎的知識について、体力要素の構成から学ぶ。						
評価方法と基準	1) 筆記試験 30% 2) 実技試験 30% 3) 出席状況 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	オリエンテーション(前期種目の確認と後期に向けての動機付け) 今後の目標設定ができる	学んだことを振り返る
2		演習	フロントランジ 主動筋(大腿四頭筋)、共同筋(大殿筋、ハムストリングス)、拮抗筋(腸腰筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
3		演習	ダンベルフライ 主動筋(大胸筋)、共同筋(上腕二頭筋、三角筋前部)、拮抗筋(広背筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
4		演習	スタンディング・カーフレイズ、シーテッド・カーフレイズ 主動筋(腓腹筋)、共同筋(ヒラメ筋)、拮抗筋(前脛骨筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
5		演習	ベントオーバー・リアレイズ 主動筋(三角筋後部、共同筋(僧帽筋)、拮抗筋(大胸筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
6		演習	スティフレッグ・デッドリフト 主動筋(ハムストリングス)、共同筋(脊柱起立筋)、拮抗筋(大腿四頭筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
7		演習	バック・エクステンション 主動筋(脊柱起立筋)、共同筋(大殿筋、ハムストリングス)、拮抗筋(腹直筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
8		演習	ベントオーバー・ロウイング 主動筋(広背筋)、共同筋(上腕二頭筋)、拮抗筋(三角筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
9		演習	ダンベルプレス 主動筋(大胸筋)、共同筋(上腕三頭筋、三角筋前部)、拮抗筋(広背筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
10		演習	プルオーバー 主動筋(広背筋)、共同筋(大胸筋)、拮抗筋(三角筋後部)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
11		演習	フレンチプレス 主動筋(上腕二頭筋)、共同筋(なし)、拮抗筋(上腕二頭筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
12		演習	アップライト・ロウイング 主動筋(三角筋)、共同筋(上腕二頭筋)、拮抗筋(広背筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
13		演習	サイド・ベント 主動筋(外腹斜筋)、共同筋(腹直筋)、拮抗筋(脊柱起立筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
14		演習	インクライン・ベンチプレス 主動筋(大胸筋上部)、共同筋(上腕三頭筋、三角筋前部)、拮抗筋(広背筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
15		試験	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 健康運動実践指導者養成用テキスト トレーニング指導者テキスト				

科目名 (英)	エクササイズ基礎 I (トレーニング演習)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉田晴彦
	(Designing Effective Training Programs)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月曜・1限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	平成15年3月 中学・高等学校教諭一種免許(保健体育)取得 平成22年1月 JATI認定トレーニング指導者資格取得 平成25年3月 柔道整復師免許取得 平成26年4月 スポーツ&コンディショニング「SteadyFive」みやぎのほら接骨院開業						
授業の学習内容	スポーツ指導者は対象や目的に応じて医・科学的な根拠に基づくトレーニングプログラムを作成し、効果的に指導ができる知識と指導力が求められる。この授業では、スポーツトレーニングの基本的な考えを学び、身体のしくみを理解し、対象者に応じて効果的なトレーニングプログラムを作成し、実践しながらスポーツ指導者に必要な知識・技術を学ぶ。						
到達目標	トレーニング指導者テキストの2,3章「各種トレーニング法の理論とプログラムと実際」の内容について説明ができる。 リファレンスブックに記載される「グッドコーチに求められる医・科学的知識」の2,3の内容について説明ができる。 そして、日本スポーツ協会のオンラインテストに合格できる。						
評価方法と基準	1)定期試験60% 2)レポート10% 3)出席30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系	ノートをまとめる
2		演習	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系	ノートをまとめる
3		演習	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系	ノートをまとめる
4		演習	体力のトレーニング 身体の仕組み、呼吸循環器系の働きとエネルギー供給	ノートをまとめる
5		演習	体力のトレーニング ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論と実際	ノートをまとめる
6		演習	体力のトレーニング 筋力トレーニングの理論と実際	ノートをまとめる
7		演習	体力のトレーニング パワー向上トレーニングの理論と実際	ノートをまとめる
8		演習	体力のトレーニング 有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論と実際	ノートをまとめる
9		演習	体力のトレーニング スピード向上トレーニングの理論と実際	ノートをまとめる
10		演習	スキルのトレーニング	ノートをまとめる
11		演習	スキルのトレーニング	ノートをまとめる
12		演習	スキルのトレーニング	ノートをまとめる
13		演習	特別な対象ためのトレーニングプログラム 傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム	ノートをまとめる
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		演習	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
リファレンスブック トレーニング指導者テキスト実践編				

科目名 (英)	エクササイズ基礎 I (フィットネス I) (Fitness I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	赤間亮介
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 水曜・1,2限
教員の略歴	H24専門学校卒業後フィットネスクラブにて勤務。JATI-ATI 健康運動実践指導者 JAJA-ADI NSCA-CPT						
授業の学習内容	エアロビックダンスダンスの特性、健康効果について説明できる。 エアロビックダンスの指導者としての役割について説明できる。 エアロビックダンスの安全な指導について理解し実践できる。 ウォーミングアップ、クーリングダウンについて理解し説明ができる。 安全で効果的なストレッチが実践できる。 安全で効果的な筋コンディショニングが実践できる。						
到達目標	有酸素運動の代表であるエアロビクス運動の特性を理解し、正しいステップや筋コンディショニングの基礎をマスターする。						
評価方法と基準	1) 筆記試験30% 2) 実技試験30% 3) 出席状況40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	プレゼンテーション ができる ローインパクト、ハイインパクト(個々でパフォーマンス) 筋コンディショニング(腹筋)	学んだことを振り返る
2		演習	プレゼンテーション(ストレッチ指導) ができる 音とり、プレイントラ(ルーティンのリード練習、2人組み、5人組み)	学んだことを振り返る
3		演習	プレゼンテーション(ストレッチ指導) ができる 音とり、プレイントラ(ルーティンのリード練習、2人組み、5人組み、一人ずつ)	学んだことを振り返る
4		演習	ストレッチ指導 ができる プレイントラ(コンビネーション指導)	学んだことを振り返る
5		演習	ストレッチ指導 ができる プレイントラ、アームワークゲーム	学んだことを振り返る
6		講義	ウォーミングアップについて…目的、内容、プログラミング ウォーミングアップの作成ができる	学んだことを振り返る
7		演習	ウォーミングアップ ができる 3人組みで練習、フィードバック	学んだことを振り返る
8		講義	ウォーミングアップ、ストレッチの確認 メインエクササイズ、フラットトップベルカーブ が説明できる	学んだことを振り返る
9		演習	ストレッチの確認(ペアで指導の循環を使って)ができる ローインパクトのプレの部分(強度を変化させる4つの要因)	学んだことを振り返る
10		演習	ウォーミングアップ、ローインパクト、ハイインパクト 筋コンディショニング(スクワット) マーチをステップのベースとした動きを考える	学んだことを振り返る
11		演習	ストレッチ指導ができる ステップの確認(踵の意識)、筋コンディショニング(フォーム重視)	学んだことを振り返る
12		演習	テスト対策 ウォーミングアップ、ローインパクトができる	学んだことを振り返る
13		試験	学習した内容の問題に答えられる	
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		試験	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 健康運動実践指導者養成用テキスト エアロビックダンスエクササイズ指導理論				

科目名 (英)	エクササイズ基礎Ⅰ (フィットネスⅡ) (FitnessⅡ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡本真紀子
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 水曜・3,4限
教員の略歴	平成7年よりセントラルスポーツ・ルネサンスなどのフィットネスクラブでエアロビクスインストラクターとして指導						
授業の学習内容	エアロビックダンスダンスの特性、健康効果について説明できる。 エアロビックダンスの指導者としての役割について説明できる。 エアロビックダンスの安全な指導について理解し実践できる。 ウォーミングアップ、ローインパクト、ハイインパクトについて実践できる。						
到達目標	有酸素運動の代表であるエアロビクス運動の特性を理解し、正しいステップや筋コンディショニングの基礎をマスターする。						
評価方法と基準	1) 筆記試験30% 2) 実技試験30% 3) 出席状況40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	オリエンテーション	
2		演習	ハード面・服装等について説明できる ウォーミングアップ、ローインパクト、ミドルインパクト、立位でのクールダウンが説明・実践できる	学んだことを振り返る
3		演習	ウォーミングアップ、ローインパクト、ミドルインパクト、筋コンディショニング、クールダウンが説明・実践できる	学んだことを振り返る
4		演習	ウォーミングアップ、ローインパクト、ミドルインパクト、筋コンディショニング、クールダウン(正しいステップをができる)	学んだことを振り返る
5		演習	ウォーミングアップ、ローインパクト、ミドルインパクト、筋コンディショニング、クールダウン(ストレッチのフォーム・アライメントの修正ができる)	学んだことを振り返る
6		演習	ウォーミングアップ(動きを意識して)、フロアトレーニング(腹・背)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
7		演習	ウォーミングアップ、ローインパクト、ハイインパクト(グループ単位、動作を大きく)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
8		演習	ウォーミングアップ(動作を大きく)、ハイインパクト(新しいステップ)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
9		演習	ウォーミングアップ(ストレッチ中心に短く)、ハイインパクト(4曲ノストップ)、筋コンディショニング(アーム、腹筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
10		演習	ウォーミングアップ(ストレッチ、Aステップ、Vステップ、6cマンボ、ハイインパクト(4曲ノストップ)、筋コンディショニング(アーム、内転筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
11		演習	ウォーミングアップ(ストレッチ、Aステップ、Vステップ(アームス中心)、ハイインパクト(4曲ノストップ)、筋コンディショニング(スクワット、体幹)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
12		演習	筋カトレーニング(6種目)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
13		演習	課題プレゼンテーション ウォーミングアップ(ストレッチ、ステップ復習)、筋コンディショニング(腹筋)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
14		演習	ストレッチ、ローインパクト、ハイインパクト(ステップ中心)、筋コンディショニング(体幹、大腿部、胸部)が説明・実践できる	学んだことを振り返る
15		試験	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 健康運動実践指導者養成用テキスト エアロビックダンスエクササイズ指導理論				

科目名 (英)	エクササイズ基礎 I (アクアエクササイズ I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡邊友朗
	(Aquat Exercise I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期 金曜1限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	2006年4月～20017年12月までフィットネスクラブに所属 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	クロール、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの泳法、指導法について説明・実践できる。 水の特性を理解し、陸上運動との違いを説明できる。 浮き身、ストリームラインの取り方について説明・実践できる。 水泳指導における安全について説明できる。						
到達目標	水中運動の特性を理解するとともに、4泳法の泳力および指導法を学び、習得することを目標とする。						
評価方法と基準	1) 出席状況40% 2) 提出物60%(実践指導まとめ・振り返り課題)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	自由形の泳法、指導法が説明・実践できる①	泳法の・指導法のポイントを振り返る
2		演習	自由形の泳法、指導法が説明・実践できる②	泳法の・指導法のポイントを振り返る
3		演習	背泳ぎの泳法、指導法が説明・実践できる①	泳法の・指導法のポイントを振り返る
4		演習	背泳ぎの泳法、指導法が説明・実践できる②	泳法の・指導法のポイントを振り返る
5		演習	平泳ぎの泳法、指導法が説明・実践できる①	泳法の・指導法のポイントを振り返る
6		演習	平泳ぎの泳法、指導法が説明・実践できる②	泳法の・指導法のポイントを振り返る
7		演習	バタフライの泳法、指導法が説明・実践できる①	泳法の・指導法のポイントを振り返る
8		演習	バタフライの泳法、指導法が説明・実践できる②	泳法の・指導法のポイントを振り返る
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 健康運動実践指導者養成用テキスト				

科目名 (英)	エクササイズ基礎 I (体力測定法) (Physical Fitness Test)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	沼田 尚
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 木曜・3,4限
教員の略歴	山形大学大学院教育学研究科修了、健康運動指導士 JATI-ATI						
授業の学習内容	体力測定の意義・目的について説明ができ、対象に合わせて体格・体型、体脂肪量、有酸素・無酸素能力、筋力の測定ができる。また、測定した結果について評価ができる。						
到達目標	体力測定に関する理論と方法を学び、データ解析や判定法による実践指導ができる。						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験(40%)…各項目における、知識の理解度を評価する。 課題レポート(40%)…実習における理解度を評価するレポートの提出。 受講態度(10%)…出席状況と授業への取り組む姿勢・態度など。 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	オリエンテーション 体力測定法を学ぶことについて考えることができる	予習復習として、体力測定概論を読んで内容をまとめておくこと
2		講義	体力測定の意義・目的を説明できる	予習復習として、体力測定の意義・目的を読んで内容をまとめておくこと
3		演習	体格、体型の測定と評価について 説明・実践できる	予習復習として、身体組成を読んで内容をまとめておくこと
4		演習	体脂肪量の測定と評価について 説明・実践できる	予習復習として、身体組成を読んで内容をまとめておくこと
5		演習	有酸素、無酸素能力の測定と評価について 説明・実践できる	予習復習として、有酸素・無酸素の測定と評価を読んで内容をまとめておくこと
6		演習	筋力の測定と評価について 説明・実践できる	予習復習として、筋力の測定と評価を読んで内容をまとめておくこと
7		演習	基礎的運動要素の測定と評価について 説明・実践できる	予習復習として、基礎的運動要素の測定と評価を読んで内容をまとめておくこと
8		演習	体力テスト測定結果の評価について 説明・実践できる	予習復習として、体力テスト測定結果の評価を読んで内容をまとめておくこと
9		演習	体力と運動能力(構成要素)、体力構成要素の 測定法について説明・実践できる	予習復習として、体力と運動能力、体力構成要素の測定法を読んで内容をまとめておくこと
10		演習	フィールドテストが説明・実践できる	予習復習として、フィールドテストを読んで内容をまとめておくこと
11		演習	高齢者の体力測定法(持久力)が 説明・実践できる	予習復習として、高齢者の体力測定法(持久力)を読んで内容をまとめておくこと
12		演習	高齢者の体力測定法(筋力)が 説明・実践ができる	予習復習として、高齢者の体力測定法(筋力)を読んで内容をまとめておくこと
13		演習	介護予防に関する体力測定法とその評価が 説明・実践できる	予習復習として、介護予防に関する体力測定法とその評価を読んで内容をまとめておくこと
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	試験に備えて、全ての項目を復習する
15		講義	学習した内容の問題に答えられる	レポート作成の為に資料・情報の収集
準備学習 時間外学習			テキスト及び配布資料を読んで内容をまとめておくこと	
【使用教科書・教材・参考書】 健康運動実践指導者養成用テキスト				

科目名 (英)	外国語 I (グローバルコミュニケーション) (Global Communication)		必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	MARK ZOLOTAR
	学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年 土曜
教員の略歴	2013年カナダヒクトリア大学修士課程修了、その後日本の英会話教室、専門学校等でこどもから大人までの英語授業を担当。 2018年英会話教室を開業(OEO)、現在は自身の英会話教室と合わせて、ILCに所属する英会話講師。							
授業の学習内容	将来、多国籍の人々と仕事をするために、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解する「グローバルマインド」と「コミュニケーション力」を兼ね備える。 総合的な英語力①Listening(リスニング力)②Writing(筆記力)③Reading(読解力)④Speaking(会話力)を身につける。 週1回2コマ実施							
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。							
評価方法と基準	定期試験(全4回) 100% CEFR Level A1							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	be 動詞(am, are)を使って自己紹介(国籍や出身)する、または出身地を尋ねる会話を練習する 疑問代名詞[What]を使って、自分の個人情報を相手に伝え、また相手の情報を聞く	教科書の予習・復習
2		演習	ホテルにチェックインする際の会話を練習する 個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く	教科書の予習・復習
3		演習	スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティで新しい人に出会う」 be 動詞を使って、家族構成について話す	教科書の予習・復習
4		演習	be 動詞の否定文を使って、友達や家族について説明する 年齢や誕生日について聞く、話す	教科書の予習・復習
5		演習	写真に写っている友達のことについて話す 友達についての紹介文を書く スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較する」	教科書の予習・復習
6		演習	名詞の所有を表す[s] と [s'] を使って、自分の家について話す [it is] を使って、家具について話す	教科書の予習・復習
7		演習	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する 分からない単語について質問する ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く	教科書の予習・復習
8		演習/試験	一般動詞「現在形」を使って、お気に入りの物について話す スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション「新居の家具を選ぶ」 定期試験/振り返り	教科書の予習・復習
9		演習	一般動詞の「現在形」の疑問文を使って、そのようにテクノロジーを使用しているのかを話す コミュニケーション手段について話す 相手の話を聞いていることを示す	教科書の予習・復習
10		演習	商品のレビューを読む、書く スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション「好きな音楽について」	教科書の予習・復習
11		演習	「現在形」肯定文、否定文を使って、平日、週末の行動について話す 「現在形」疑問文を使って、時間・自分のルーティン(日課)について話す	教科書の予習・復習
12		演習	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する 自分の行動についてのレポートを読む、書く	教科書の予習・復習
13		演習	スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション「異なる週の活動について比較する」 [There (is, are), (a lot, some, no)] を使って、町にある場所について話す	教科書の予習・復習
14		演習	「可算名詞・不可算名詞」を使って、住んでいる地域の自然について話す 道順を聞く、または教える会話を練習する	教科書の予習・復習
15		演習/試験	自然の中の場所についてのファクトシートについて読む、書く 定期試験/振り返り プレゼンテーション	教科書の予習・復習

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16		演習	「現在進行形」肯定文を使って、家事や自宅での行動について話す 「現在進行形」疑問文を使って、旅行について質問する、または答える	教科書の予習・復習
17		演習	電話で情報を共有する会話を練習する 今起こっていることについてのブログを読む、書く	教科書の予習・復習
18		演習	スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション「最近の生活について」 [Can / Can't] (能力) を使って、自分の能力や才能について話す	教科書の予習・復習
19		演習	[Can / Can't] (可能性) を使って、職場や学校でできること、できないことについて話す 自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する	教科書の予習・復習
20		演習	インターネット上で自分の考えをコメントする スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて」	教科書の予習・復習
21		演習	[this] と [these] を使って、休暇、旅行について話す [like to, want to, need to, have to] を使って、旅行計画を立てる	教科書の予習・復習
22		演習	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する 場所についての説明を読む、書く	教科書の予習・復習
23		演習/試験	スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション「休暇の計画をたてる」 [be going to] を使って、週末のアウトドア(野外)プランについて話す 定期試験/振り返り	教科書の予習・復習
24		演習	[be going to] (疑問文) を使って、異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う 夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する	教科書の予習・復習
25		演習	オンラインでの招待状を読む、書く スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画する」	教科書の予習・復習
26		演習	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、記憶にある色について話す	教科書の予習・復習
27		演習	自分の記憶を表現し、映画、俳優について話す 過去の思い出として保管している物についてEメールを書く	教科書の予習・復習
28		演習	スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション「子どもの頃から見ているTV番組について」 一般動詞の「過去形」を使って、間食や軽食について話す	教科書の予習・復習
29		演習	一般動詞の「過去形」の疑問文を使って、レストランの食事について話す 食べ物・飲み物を提供する、お願いする、また答える時の会話を練習する	教科書の予習・復習
30		演習/試験	レストランのレビューを読む、書く プレゼンテーション 定期試験/振り返り	教科書の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Evolve1				

科目名 (英)	海外実学研修 (Overseas Study Tour)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期 集中
教員の略歴	提携校カリフォルニア州立大学ノースリッジ校教員 EXOSTレーナースタッフ など						
授業の学習内容	提携校カリフォルニア州立大学ノースリッジ校や、スポーツ施設のEXOSやベイクラブにて、スポーツ指導に必要な知識や技術を学び、説明・実践することができる。また、アメリカで生活したり、スポーツ施設や文化施設を訪問し、環境や人に触れたり経験することで、国際的な感性を高めることができる。						
到達目標	グローバル化している現代社会において国際的な感性を養い、広く世界に通用する人材になる。スポーツ先進国とされるアメリカでのスポーツ施設、スポーツ文化、スポーツ指導者から多くの情報を学び、自分の指導に生かすことができる。外国人とコミュニケーションを取ることができる。						
評価方法と基準	全ての日程、行程を履修し、学んだことをノートに記録する。そのノートの提出者に単位を認定する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	スポーツ栄養について説明できる	学んだことをノートにまとめる
2	／	演習	アスリート施設の理念が説明できる	学んだことをノートにまとめる
3	／	演習	ムーブメントに基づいたプログラムデザインができる	学んだことをノートにまとめる
4	／	演習	トレーニング理論が説明できる	学んだことをノートにまとめる
5	／	演習	多方向のスピードについて説明できる	学んだことをノートにまとめる
6	／	演習	体幹トレーニング、ウォームアップが実践できる	学んだことをノートにまとめる
7	／	演習	プライオメトリクスが実践できる	学んだことをノートにまとめる
8	／	演習	ストレングストレーニングが実践できる	学んだことをノートにまとめる
9	／	演習	アメリカでのスポーツショップ見学 ビジネス、販売を経験する	学んだことをノートにまとめる
10	／	演習	アメリカでの施設訪問 コミュニケーションができる1	学んだことをノートにまとめる
11	／	演習	アメリカでの施設訪問 コミュニケーションができる2	学んだことをノートにまとめる
12	／	演習	アメリカでの施設訪問 コミュニケーションができる3	学んだことをノートにまとめる
13	／	演習	アメリカでの施設訪問 コミュニケーションができる4	学んだことをノートにまとめる
14	／	演習	アメリカでの施設訪問 コミュニケーションができる5	学んだことをノートにまとめる
15	／	演習	学んだことを人に伝えることができる	学んだことをノートにまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	資格検定対策 I (Preparation for Certificatons I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界で活躍するためには、スポーツの専門的な知識・技能や、ビジネススキル、ヒューマンスキルが必要である。それらを身につけていくために、各専門的な協会や団体が認定する資格の取得を目指している。スポーツ業界での仕事は多種多様であり、活躍できる分野も幅広い。自分にとってどのような資格が必要かを考え、						
到達目標	1) 自分に必要な資格が何かを考えることができる 2) 目指す資格取得のためにどのような能力が必要か説明することができる 3) 目指す資格取得のための勉強計画ができる 4) 目指す資格取得ができる						
評価方法と基準	1) 小テスト 20% 2) 筆記・実技テスト 30% 3) 提出物・課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	オリエンテーション	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
2	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
3	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
4	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
5	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
6	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
7	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
8	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
9	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
10	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
11	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
12	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
13	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
14	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
15	／	演習	試験	授業内で学んだことをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	資格検定対策 I (Preparation for Certificatons I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界で活躍するためには、スポーツの専門的な知識・技能や、ビジネススキル、ヒューマンスキルが必要である。それらを身につけていくために、各専門的な協会や団体が認定する資格の取得を目指している。スポーツ業界での仕事は多種多様であり、活躍できる分野も幅広い。自分にとってどのような資格が必要かを考え、						
到達目標	1) 自分に必要な資格が何かを考えることができる 2) 目指す資格取得のためにどのような能力が必要か説明することができる 3) 目指す資格取得のための勉強計画ができる 4) 目指す資格取得ができる						
評価方法と基準	1) 小テスト 20% 2) 筆記・実技テスト 30% 3) 提出物・課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
17	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
18	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
19	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
20	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
21	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
22	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
23	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
24	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
25	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
26	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
27	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
28	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
29	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
30	／	演習	試験	授業内で学んだことをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	特別講義 I (Special Lecture I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	各業界講師 (担当: 藤村)
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界は時代の経過とともに日々進化している。そのスポーツ業界で即戦力として活躍するためには、常に最先端の情報を得ることが求められる。産学連携教育の一貫として、業界の最先端で活躍している企業やプロの講師から業界の話やこれから身につけてくべきスキルについて学ぶ。						
到達目標	1) 今の業界の流れ・仕組みが説明できる 2) 今の業界で求められるスキルが説明できる 3) 1),2)の上で、自分が今後どうすべきかを計画し、説明することができる						
評価方法と基準	1) 事前・事後課題の提出 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
2	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
3	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
4	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
5	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
6	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
7	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
8	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
9	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
10	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
11	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
12	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
13	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
14	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
15	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップ I (Workshop I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
2	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
3	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
4	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
5	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
6	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
7	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
8	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
9	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
10	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
11	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
12	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
13	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
14	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
15	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップ I (Workshop I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
17	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
18	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
19	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
20	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
21	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
22	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
23	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
24	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
25	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
26	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
27	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
28	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
29	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
30	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップ I (Workshop I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
31	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
32	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
33	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
34	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
35	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
36	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
37	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
38	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
39	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
40	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
41	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
42	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
43	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
44	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
45	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップ I (Workshop I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
46	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
47	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
48	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
49	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
50	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
51	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
52	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
53	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
54	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
55	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
56	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
57	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
58	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
59	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
60	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミ I (Seminar I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	各業界講師 (担当: 藤村)
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
2	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
3	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
4	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
5	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
6	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
7	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
8	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
9	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
10	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
11	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
12	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
13	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
14	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
15	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミ I (Seminar I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	各業界講師 (担当: 藤村)
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
17	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
18	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
19	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
20	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
21	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
22	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
23	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
24	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
25	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
26	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
27	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
28	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
29	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
30	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミ I (Seminar I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	各業界講師 (担当: 藤村)
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
31	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
32	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
33	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
34	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
35	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
36	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
37	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
38	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
39	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
40	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
41	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
42	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
43	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
44	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
45	／	演習	自分に必要な知識・技能について グループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミ I (Seminar I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	各業界講師 (担当: 藤村)
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
46	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
47	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
48	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
49	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
50	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
51	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
52	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
53	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
54	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
55	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
56	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
57	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
58	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
59	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
60	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	現場実習 I	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	藤村真仁
	Internship program)	授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	集中
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ現場の見学や実習を通して、専門分野で学んだ知識・技術を実践し高める。						
到達目標	1) 実習先を行う上での現場のルールを説明できる 2) 実習の予定・計画ができる 3) 実習担当者と打ち合わせしながら実習を全うできる 4) 実習先でのお客様への正しい対応について説明ができる 5) 実習での目的・目標について説明ができる 6) 1)-5)をもとに実習さきでPDCAを実践できる						
評価方法と基準	実習内容、学習内容を実習報告書に記録する。実習報告書提出者に単位を認定する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
2	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
3	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
4	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
5	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
6	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
7	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
8	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
9	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
10	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
11	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
12	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
13	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
14	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
15	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
準備学習 時間外学習			復習として実習内容のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名 (英)	現場実習 I	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	藤村真仁
	Internship program)	授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	集中
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ現場の見学や実習を通して、専門分野で学んだ知識・技術を実践し高める。						
到達目標	1) 実習先を行う上での現場のルールを説明できる 2) 実習の予定・計画ができる 3) 実習担当者と打ち合わせしながら実習を全うできる 4) 実習先でのお客様への正しい対応について説明ができる 5) 実習での目的・目標について説明ができる 6) 1)-5)をもとに実習さきでPDCAを実践できる						
評価方法と基準	実習内容、学習内容を実習報告書に記録する。実習報告書提出者に単位を認定する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
17	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
18	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
19	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
20	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
21	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
22	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
23	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
24	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
25	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
26	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
27	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
28	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
29	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
30	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
準備学習 時間外学習			復習として実習内容のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名 (英)	現場実習 I	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	藤村真仁
	Internship program)	授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	集中
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ現場の見学や実習を通して、専門分野で学んだ知識・技術を実践し高める。						
到達目標	1) 実習先を行う上での現場のルールを説明できる 2) 実習の予定・計画ができる 3) 実習担当者と打ち合わせしながら実習を全うできる 4) 実習先でのお客様への正しい対応について説明ができる 5) 実習での目的・目標について説明ができる 6) 1)-5)をもとに実習さきでPDCAを実践できる						
評価方法と基準	実習内容、学習内容を実習報告書に記録する。実習報告書提出者に単位を認定する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
31	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
32	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
33	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
34	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
35	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
36	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
37	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
38	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
39	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
40	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
41	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
42	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
43	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
44	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
45	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
準備学習 時間外学習			復習として実習内容のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名 (英)	進級制作 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	藤村真仁
	(Promotion work)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	通年
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	1年次で学習したことや体得したことを、個人やグループでテーマを設定し、課題に取り組む。						
到達目標	①1年次の学習内容から自分でテーマを設定できる ②テーマについてまとめることができる ③パワーポイントの作成ができる ④プレゼンテーションができる						
評価方法と基準	1)出席数50% 2)作成したパワーポイント25% 3)プレゼンテーション25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	1年次を振り返りテーマを設定できる	資料まとめ
2		演習	1年次を振り返りテーマを設定できる	資料まとめ
3		演習	1年次を振り返りテーマを設定できる	資料まとめ
4		演習	テーマについて資料を集めることができる	資料まとめ
5		演習	テーマについて資料を集めることができる	資料まとめ
6		演習	テーマについて資料を集めることができる	資料まとめ
7		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
8		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
9		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
10		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
11		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
12		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
13		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
14		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
15		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名 (英)	進級制作 I (Promotion work)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	1年次で学習したことや体得したことを、個人やグループでテーマを設定し、課題に取り組む。						
到達目標	①1年次の学習内容から自分でテーマを設定できる ②テーマについてまとめることができる ③パワーポイントの作成ができる ④プレゼンテーションができる						
評価方法と基準	1)出席数50% 2)作成したパワーポイント25% 3)プレゼンテーション25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16		演習	1年次を振り返りテーマを設定できる	資料まとめ
17		演習	1年次を振り返りテーマを設定できる	資料まとめ
18		演習	1年次を振り返りテーマを設定できる	資料まとめ
19		演習	テーマについて資料を集めることができる	資料まとめ
20		演習	テーマについて資料を集めることができる	資料まとめ
21		演習	テーマについて資料を集めることができる	資料まとめ
22		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
23		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
24		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
25		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
26		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
27		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
28		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
29		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
30		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名 (英)	データ分析 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	藤村真仁
	(Data Analytics I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 集中
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	2006年4月～2007年12月までフィットネスクラブに所属 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ選手のパフォーマンスの向上や、チームの戦術などにテクノロジーが使用されている。またそれは日々改善され、道具の開発も進んでいる。スポーツ業界で活躍する上では、スポーツとテクノロジーの関連についての感性を磨くことが大切である。この授業では、現在現場で使用されているテクノロジーに触れ、その使用方法を学んだり、それらをどう生かしていくかを考える。また、それらの活用でわかる各データを分析し、さらに改善していくためには何が必要かを考える力を身に付けていく。						
到達目標	スポーツ現場で使用している分析ソフトウェアについて 1) 概要を説明できる 2) 準備・使用ができる 3) 使用方法について人に説明できる 4) 対象へ測定・記録などができる 5) 測定したデータについて自分の考えが説明できる 6) 5)についてグループで意見交換し、考えをまとめ発表ができる						
評価方法と基準	1)課題提出・発表 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	オリエンテーション 分析の意義、必要性	資料まとめ
2		演習	分析の意義、必要性	資料まとめ
3		演習	映像の基礎知識	資料まとめ
4		演習	映像の基礎知識	資料まとめ
5		演習	分析アプローチ	資料まとめ
6		演習	分析アプローチ	資料まとめ
7		演習	ゲーム分析デザイン	資料まとめ
8		演習	ゲーム分析デザイン	資料まとめ
9		演習	分析演習・スキルアップ	資料まとめ
10		演習	分析演習・スキルアップ	資料まとめ
11		演習	フィードバック方法	資料まとめ
12		演習	フィードバック方法	資料まとめ
13		演習	演習・操作スキルチェック・課題・プレゼン	資料まとめ
14		演習	演習・操作スキルチェック・課題・プレゼン	資料まとめ
15		演習	演習・操作スキルチェック・課題・プレゼン	資料まとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	パフォーマンスⅠ (アスレティックリハビリテーションⅠ) (Athletic RehabilitationⅠ)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	千葉 渉
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	医療法人松田会 松田病院 理学療法士、日本スポーツ協会アスレティックトレーナー						
授業の学習内容	子どもから高齢者の健康維持の増進や、競技者の競技復帰において基盤となるアスレティックリハビリテーション、各療法の知識、技術を習得する。						
到達目標	①アスレティックリハビリテーションの概要を理解する ②アスレティックリハビリテーションに必要な知識、技術を理解する						
評価方法と基準	1)定期試験60% 2)レポート10% 3)出席30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	アスレティックリハビリテーションの考え方を理解する	アスレティックリハビリテーションの概要をまとめる
2		演習	上肢の解剖学的運動を理解する	上肢の機能解剖をまとめる
3		演習	上肢のアスレティックリハビリテーションを理解する	上肢のアスレティックリハビリテーションをまとめる
4		演習	上肢の関節可動域測定を理解する	上肢の関節可動域測定の方法をまとめる
5		演習	上肢のMMTを理解する	上肢のMMTをまとめる
6		演習	まとめ	
7		演習	下肢の解剖学的運動を理解する	下肢の機能解剖をまとめる
8		演習	下肢のアスレティックリハビリテーションを理解する	下肢のアスレティックリハビリテーションをまとめる
9		演習	下肢の関節可動域測定を理解する	下肢の関節可動域測定の方法をまとめる
10		演習	下肢のMMTを理解する	下肢のMMTをまとめる
11		演習	まとめ	
12		演習	物理療法について理解する	物理療法の概要をまとめる
13		演習	補装具について理解する	補装具の概要をまとめる
14		試験	定期試験	
15		演習	まとめ	
準備学習 時間外学習			授業の復習として各講義のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション				

科目名 (英)	コンディショニング I (コンディショニング理論演習 I) (Seminar of Strengthand Conditioning I)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	渡会稔
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜・1限
教員の略歴	1999年日本スポーツ協会アスレティックトレーナー取得 2009年～2014年仙台大学 体育学部 体育学科 助教 プロバスケットボールチームトレーナーを歴任							
授業の学習内容	コンディショニングの方法および目的を理解し、身体的、環境的、心因的因子を理解する。また、競技特性、外傷予防について学び、スポーツ現場でその知識を還元すること。							
到達目標	コンディショニングの方法および目的を理解し、身体的、環境的、心因的因子を説明できる。また、競技特性、外傷予防について説明ができる。							
評価方法と基準	筆記テスト							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	コンディショニングの目的について説明できる	テキストの予習・復習
2		演習	傷害発生要因、身体・環境・心因的因子について説明できる	テキストの予習・復習
3		演習	コンディショニングの指標及び評価法、フィットネス・フィールドテストについて説明できる	テキストの予習・復習
4		演習	コンディショニングの指標及び評価法、身体・環境・心因的因子について説明できる	テキストの予習・復習
5		演習	コンディショニングを意識したトレーニング計画の立案及び設計について説明できる	テキストの予習・復習
6		演習	身体・環境・心因的因子から傷害発生に關与する環境因子について説明できる	テキストの予習・復習
7		演習	ウォーミングアップ・クーリングダウン意義・目的・方法を説明・実践できる	テキストの予習・復習
8		演習	コンディショントレーニングについて説明・実践できる	テキストの予習・復習
9		演習	スプリント、エンデュランス(サーキットトレーニングを含む)について説明・実践できる	テキストの予習・復習
10		演習	冬季・採点競技系の傷害・環境を理解し、対策・改善について説明できる	テキストの予習・復習
11		演習	格闘技・記録系競技の傷害・環境を理解し、対策・改善について説明できる	テキストの予習・復習
12		演習	球技系競技の傷害・環境を理解し、対策・改善について説明できる①	テキストの予習・復習
13		演習	球技系競技の傷害・環境を理解し、対策・改善について説明できる②	テキストの予習・復習
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		演習	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アスレティックトレーナー専門科目テキスト 予防とコンディショニング				

科目名 (英)	応用医学 I (スポーツ栄養学 II) (Sports Nutrition II)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	佐々木裕子
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	管理栄養士						
授業の学習 内容	栄養学の知識および運動と栄養の関わりについて説明ができる。また、スポーツ選手に対する栄養の留意点や指導法について説明ができる。						
到達目標	身体組成やウエイトコントロール、栄養欠陥に基づく疾病、サプリメントの知識を持ち、アスリートに向けた食事の計画や栄養指導を行うことができる						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 小テスト15% 3) 出席・意欲・態度 25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	「スポーツ栄養とは」について説明ができる	授業内で学んだ知識を振り返る
2		講義	各栄養素の役割を理解し、からだ作りとウエイトコントロールについて説明ができる	授業内で学んだ知識を振り返る
3		講義	コンディショニングを整える栄養補給と計画(エネルギー消費量について)について説明ができる	授業内で学んだ知識を振り返る
4		講義	コンディショニングを整える栄養補給と食事について説明ができる(栄養と水分について)	授業内で学んだ知識を振り返る
5		講義	コンディショニングを整える食事について説明ができる(食事の計画について)	授業内で学んだ知識を振り返る
6		講義	栄養欠陥に基づく疾病と対策について説明ができる	授業内で学んだ知識を振り返る
7		講義	栄養欠陥に基づく疾病と対策について説明ができる(身体構造の変化について)	授業内で学んだ知識を振り返る
8		講義	栄養欠陥に基づく疾病と対策について説明ができる(栄養素の過剰摂取について)	授業内で学んだ知識を振り返る
9		講義	さまざまな状況下での栄養摂取について説明ができる	授業内で学んだ知識を振り返る
10		講義	サプリメント事情を知り、種類と期待される効果および問題点を把握し、効果的な選択方法について説明ができる①	授業内で学んだ知識を振り返る
11		講義	サプリメント事情を知り、種類と期待される効果および問題点を把握し、効果的な選択方法について説明ができる②	授業内で学んだ知識を振り返る
12		講義	アスリートを指導するための栄養学的情報の収集および栄養指導ができる①	授業内で学んだ知識を振り返る
13		講義	アスリートを指導するための栄養学的情報の収集および栄養指導ができる②	授業内で学んだ知識を振り返る
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	授業内で学んだ知識を振り返る
15		講義	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 スポーツと栄養(公認AT専門科目テキスト) 栄養の基礎がわかる図解事典 リファレンスブック 健康運動実践指導者養成用テキスト フィットネス基礎理論 トレーニング指導者テキスト理論編				

科目名 (英)	応用生理学 (スポーツ生理学Ⅱ) (Exercise Physiology Ⅱ)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	藤本 敏彦
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	1990年鹿屋体育大学修士課程修了後、東北大学にて勤務 准教授						
授業の学習内容	スポーツ生理Ⅰの知識をもとにスポーツ時に起こる身体内での生理現象(神経系、骨格筋系、内分泌系、呼吸循環器系、発達発育)をトレーニングと関連づけて学習する。						
到達目標	神経、筋、骨の機能と呼吸循環器の機能を理解し、トレーニング効果の説明ができる。						
評価方法と基準	定期試験 90%、授業中の発表回数 10%、復習の忘れは減点 1回5点 授業時の居眠り、雑談等は教員の判断で減点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	骨の構造と機能及び代謝について説明ができる	講義の復習
2		講義	筋細胞と筋収縮の仕組みについて説明ができる①	講義の復習
3		講義	筋細胞と筋収縮の仕組みについて説明ができる②	講義の復習
4		講義	ホルモンバランスと組織構造の適応について説明ができる	講義の復習
5		講義	消化器系の構造と役割について説明ができる①	講義の復習
6		講義	消化器系の構造と役割について説明ができる②	講義の復習
7		講義	呼吸循環器系の構造と役割について説明ができる①	講義の復習
8		講義	呼吸循環器系の構造と役割について説明ができる②	講義の復習
9		講義	トレーニングによるからだの変化について説明ができる①(筋細胞)	講義の復習
10		講義	トレーニングによるからだの変化について説明ができる②(骨細胞)	講義の復習
11		講義	トレーニングによるからだの変化について説明ができる③(循環器)	講義の復習
12		講義	有酸素トレーニングと無酸素トレーニングについて説明ができる	講義の復習
13		講義	デイトレーニングについて説明ができる	講義の復習
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	自主採点
15		講義	学習した内容の問題に答えられる	試験内容の復習
準備学習 時間外学習		復習ノートを作成する		
【使用教科書・教材・参考書】				
健康運動実践指導者養成用テキスト 公認アスレティックトレーナー専門科目テキストスポーツ科学 フィットネス基礎理論 トレーニング指導者テキスト理論編 運動生理学の基礎と発展				

科目名 (英)	AT指導者論 I (アスレティックトレーナー論) (Introduction to Athletic Training)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	渡会 稔
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 水曜・4限
教員の略歴	1999年日本スポーツ協会アスレティックトレーナー取得 2009年～2014年仙台大学 体育学部 体育 学科 助教 プロバスケットボールチームトレーナーを歴任							
授業の学習内容	アスリートのコンディショニングを統合的な視点を持ってサポートする。また、正しい知識や優れた技術を習得するための意義を理解する。ATの業務、倫理について、具体的な例を挙げながら説明していく。							
到達目標	①ATの役割と業務を理解する ②医科学スタッフとの連携、協力の重要性を理解する ③ATチームの組織運営を理解する ④ATの倫理を理解する							
評価方法と基準	1)定期試験60% 2)レポート10% 3)出席30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	アスレティックトレーナーの歴史と制度を理解する	ATの制度をまとめる
2		講義	アスレティックトレーナーの任務と役割を理解する	ATの役割をまとめる
3		講義	アスレティックトレーナーの業務①を理解する	ATが行う外傷障害の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション、コンディショニングをまとめる
4		講義	アスレティックトレーナーの業務②を理解する	ATが行う検査・測定評価、健康管理と組織運営、教育的指導をまとめる
5		講義	アスレティックトレーナーの活動①を理解する	合宿、海外遠征におけるATの活動をまとめる
6		講義	アスレティックトレーナーの活動②を理解する	陸上、テニスにおけるATの活動をまとめる
7		講義	アスレティックトレーナーの活動③を理解する	ラグビー、サッカー、冬季競技におけるATの活動をまとめる
8		講義	医科学スタッフの構成と役割を理解する	アスリートをサポートするスタッフの役割をまとめる
9		講義	スポーツドクター、コーチとの連携・協力を理解する	スポーツドクター、コーチとの連携、役割の分担をまとめる
10		講義	アスレティックトレーナーの組織と運営を理解する	ATチームの組織運営をまとめる
11		講義	競技者のコンディショニングに関するデータの管理を理解する	競技者のデータ管理の必要性、方法をまとめる
12		講義	アスレティックトレーナーの立場と倫理を理解する	ATの倫理をまとめる
13		講義	アスレティックトレーナーと法的諸問題を理解する	ATの安全配慮義務、注意義務をまとめる
14		試験	定期試験	
15		講義	まとめ	
準備学習 時間外学習			授業の復習として各講義のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割				

科目名 (英)	エクササイズ応用 I (ダンスフィットネス I)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	加藤真莉音
	(Dance Fitness I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 曜日・時限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	仙台医健専門学校卒業 フリーランスインストラクター						
授業の学習内容	フィットネス業界では、人々が安全で楽しく継続的に運動ができるために、日々新しいダンスフィットネスプログラムが生まれている。この授業では、そのダンスフィットネスプログラムを体験しながら、その運動の意義・効果などを学習する。						
到達目標	各種ダンスフィットネスプログラムの動きができる。 また、そのエクササイズの意義や効果が説明できる。						
評価方法と基準	1)実技テスト&課題 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ダンスフィットネス について 自己紹介 ストレッチ ズンバ レッスン	振り返りと練習
2		演習	ストレッチ ズンバ 前回の振り付けの確認	振り返りと練習
3		演習	ストレッチ ズンバ 前回の振り付けとアレンジ	振り返りと練習
4		演習	ストレッチ ズンバ 前回の振り付けとラストアレンジ	振り返りと練習
5		演習	ストレッチ ダンスステップ 前回の振り付けとアレンジ制作考案	振り返りと練習
6		演習	ストレッチ アイソレーション ダンスステップ アレンジ実践	振り返りと練習
7		演習	ストレッチ アイソレーション ダンスステップ アレンジ実践	振り返りと練習
8		演習	ストレッチ アイソレーション ダンスステップ アレンジ実践	振り返りと練習
9		演習	ストレッチ アイソレーション ダンスステップ アレンジ完成	振り返りと練習
10		演習	ストレッチ アイソレーション ダンスステップ アレンジ完成形	振り返りと練習
11		演習	ストレッチ アイソレーション ダンスステップ アレンジ完成形	振り返りと練習
12		演習	ストレッチ ダンスステップ メインダンス	振り返りと練習
13		演習	ストレッチ アイソレーション ダンスステップ メインテスト練習	振り返りと練習
14		試験	実技テスト	振り返り
15		演習	課題	課題
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	制作 I (動画編集&カメラワーク I) (Video Editing & Camera Techniques I)	必修 選択	コース必修/選択	年次	1	担当教員	池上康平
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	テレビ局でビデオエンジニア、カメラマンとして撮影取材編集に携わる。映像記録事務所インターフィード代表。						
授業の学習内容	スポーツの魅力伝え宣伝していくため、あらゆる映像機器を使用し撮影し、その映像データを対象に合わせて動画・映像編集し、そのニーズに応えるためのスキルを学ぶ。						
到達目標	1) 映像を撮影するあらゆる機器について調べ説明できる 2) 自分が所有する映像機器の使い方について説明ができる 3) 自分が所有する映像機器で撮影し、その内容について説明することができる 4) 自分で目的を考え、それに応じた撮影を行い、その説明をすることができる						
評価方法と基準	1) 提出物100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	カメラ操作基礎 撮影してみる	前回の復習・ノートまとめ
2		演習	カメラ操作 三脚 照明 外部マイク使用	前回の復習・ノートまとめ
3		演習	スポーツ中継 取材の撮影全般について1	前回の復習・ノートまとめ
4		演習	スポーツ中継 取材の撮影全般について2	前回の復習・ノートまとめ
5		演習	ライブ配信1	前回の復習・ノートまとめ
6		演習	ライブ配信2	前回の復習・ノートまとめ
7		演習	映像編集1	前回の復習・ノートまとめ
8		演習	映像編集2 スポーツに特化して	前回の復習・ノートまとめ
9		演習	インタビュー取材	前回の復習・ノートまとめ
10		演習	インタビュー取材実践	前回の復習・ノートまとめ
11		演習	映像制作実践1企画を立てる	前回の復習・ノートまとめ
12		演習	映像制作実践2 スポーツを撮影する	前回の復習・ノートまとめ
13		演習	映像制作実践3 撮影したものを編集する	前回の復習・ノートまとめ
14		演習	発表 修正	前回の復習・ノートまとめ
15		演習	完成	前回の復習・ノートまとめ
準備学習 時間外学習			テキスト及び配布資料を読んで内容をまとめておくこと	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	広告・宣伝 I (コンピュータデザイン I) (Computer Design I)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	薄井達也
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 水曜1限
教員の略歴	2014～2022年仙台を中心にイラストレーター・デザイナーとして活動						
授業の学習内容	実際の社会で活かすための「illustration」スキルを学びます。綺麗なデザインの名刺・チラシにするためには、ビジネスやサービスも整理されていなければいけません。単純にソフトのスキルを学ぶだけでなく、情報の整理を学びましょう。						
到達目標	スポーツ現場における広告・宣伝のためにコンピュータ作図ソフトの「illustrator」や「photoshop」などの操作ができる。また、コンピュータを活用し、インターネット媒体や、DM、ポスター、チラシなどにおいて魅力的なデザインを考え作り出すことができる。						
評価方法と基準	1) 出席状況 60% 2) 提出物 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	イラストレーターとは どんなことをするソフトなのか？	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
2		講義	ロゴを作ってみよう ロゴとは？	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
3		講義	ロゴを作ってみよう 色が見る側に与える印象 色の組み合わせについて	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
4		講義	ロゴを作ってみよう グラデーションを使いこなす	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
5		講義	ロゴを作ってみよう 形が見る側に与える印象	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
6		講義	名刺制作 事例紹介	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
7		講義	名刺制作 制作前の設定 制作	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
8		講義	名刺制作 レイアウトのコツ 制作	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
9		講義	チラシ制作 事例紹介	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
10		講義	チラシ制作 制作前の設定 素材探し	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
11		講義	チラシ制作 制作	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
12		講義	チラシ制作 制作	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
13		講義	チラシ制作 制作	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
14		講義	印刷 印刷のルール	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
15		講義	印刷 印刷の注意点	学んだことを振り返る・各自ブラッシュアップ
準備学習 時間外学習			テキスト及び配布資料を読んで内容をまとめておくこと	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	テクノロジー I (AIプログラミング) (AI Programiming)	必修 選択	コース必 須/選択	年次	1	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	AIの概念や機械学習の基本原則、AIワークロードの機能について学ぶ						
到達目標	1) AIの重要性が説明できる 2) AIの注意事項が説明できる 3) AIの活用例や今後の発展について説明できる 4) AIのワークロードが説明できる						
評価方法と基準	1) 課題提出 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	AIを勉強する勉強する意義	資料まとめ
2		演習	AIを勉強する勉強する意義	資料まとめ
3		演習	AIの学び方	資料まとめ
4		演習	AI概要 責任あるAI	資料まとめ
5		演習	AI概要 責任あるAI	資料まとめ
6		演習	機械学習	資料まとめ
7		演習	機械学習	資料まとめ
8		演習	異常検出	資料まとめ
9		演習	computer vision	資料まとめ
10		演習	computer vision	資料まとめ
11		演習	自然言語処理	資料まとめ
12		演習	自然言語処理	資料まとめ
13		演習	対話型AI	資料まとめ
14		演習	対話型AI	資料まとめ
15		演習	まとめ	資料まとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ジュニアスポーツ I (レクリエーション演習) (Instructional Methods of Recreation)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	1	担当教員	伊藤枝里奈
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月曜・1限
教員の略歴	大学院修士課程修了 こどもの運動指導に従事							
授業の学習内容	レクリエーションの指導者・支援者として必要な実技を体験学習し、習得する。							
到達目標	レクリエーションについて説明ができる。 各種運動やニュースポーツなどを指導する際、アイスブレイキングやレクリエーション運動などを計画し、実践指導することができる。							
評価方法と基準	1)授業用ノート100% (授業内での課題、実践指導の評価、出席などの記録など全ての記載を総合的に評価)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	オリエンテーション ～レクリエーションとは何か～	
2		演習	レクリエーションの基礎理論① ～社会とレクリエーション運動～	ノートまとめ
3		演習	レクリエーションの基礎理論② ～レクリエーションの理解と歴史～	ノートまとめ
4		演習	レクリエーション支援の理論	ノートまとめ
5		演習	アイスブレイキング①	ノートまとめ
6		演習	アイスブレイキング②	ノートまとめ
7		演習	ニュースポーツ①	ノートまとめ
8		演習	ニュースポーツ②	ノートまとめ
9		演習	ニュースポーツ③	ノートまとめ
10		演習	ニュースポーツ④	ノートまとめ
11		演習	野外活動①	ノートまとめ
12		演習	野外活動②	ノートまとめ
13		演習	レクリエーションゲーム指導案①	ノートまとめ
14		試験	レクリエーションゲーム指導案②	ノートまとめ
15		演習	実技テスト	ノートまとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				